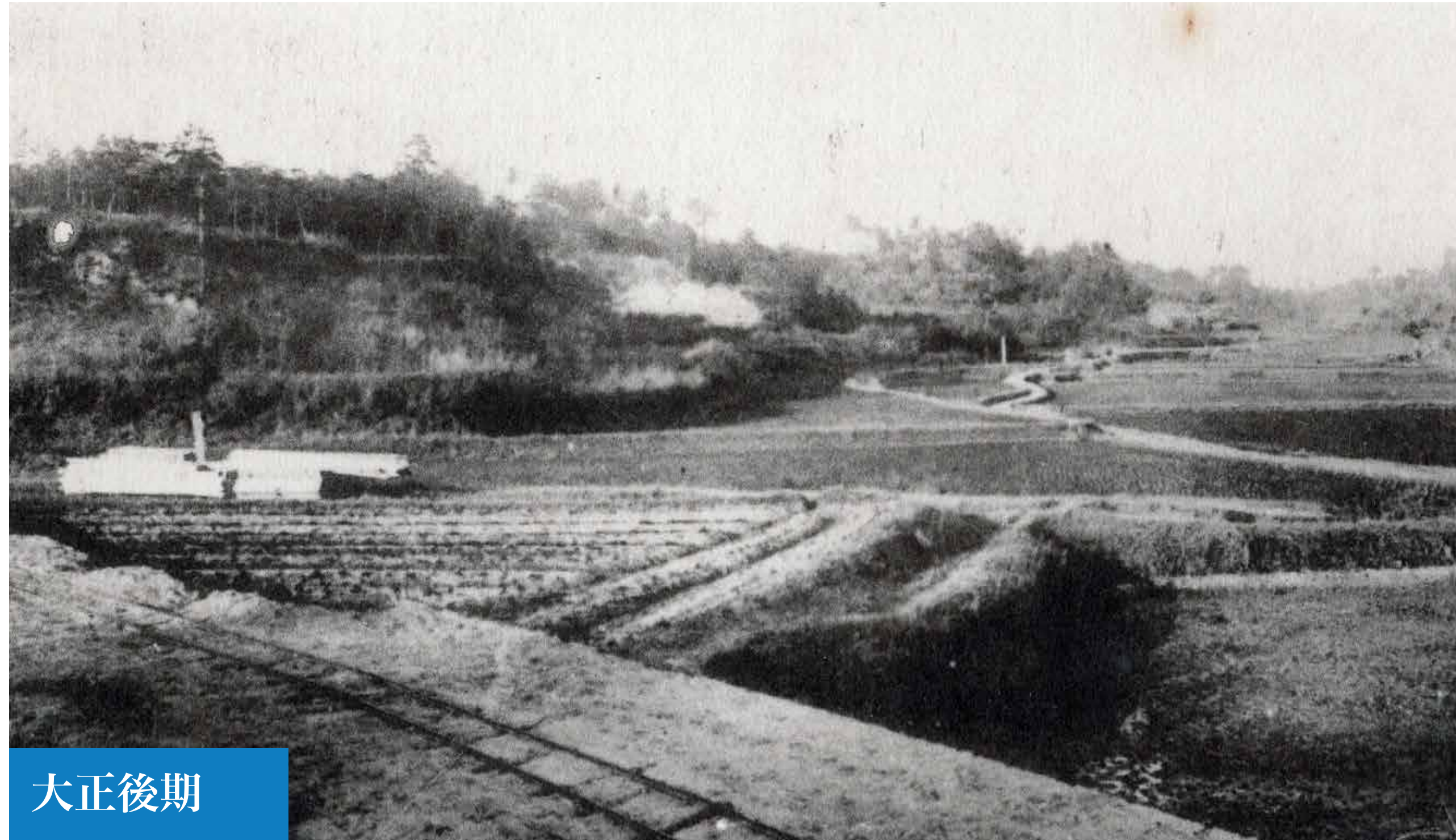


このまちの100年

「千里」

千里は計画的な住宅地開発が先進的に行われた地。千里山住宅地は大正期、イギリス・レッチワースをモデルに開発された日本で最初の田園都市です。昭和30年代には、日本初の大規模ニュータウン・千里ニュータウンの開発が始まりました。



大正後期

大正後期の千里山駅建設地付近の様子。手前に工事中のトロッキ用線路が見える



昭和32年

千里山団地の様子。時代の先端をいく集合住宅として人気を博した



昭和44年

千里ニュータウンの開発に伴い、昭和38年に阪急千里山線(現在の千里線)が延伸され、新千里山駅(現在の南千里駅)が開業した



昭和44年

千里南公園。千里ニュータウンの建設と同時に整備され、昭和38年に開園した



昭和41年頃

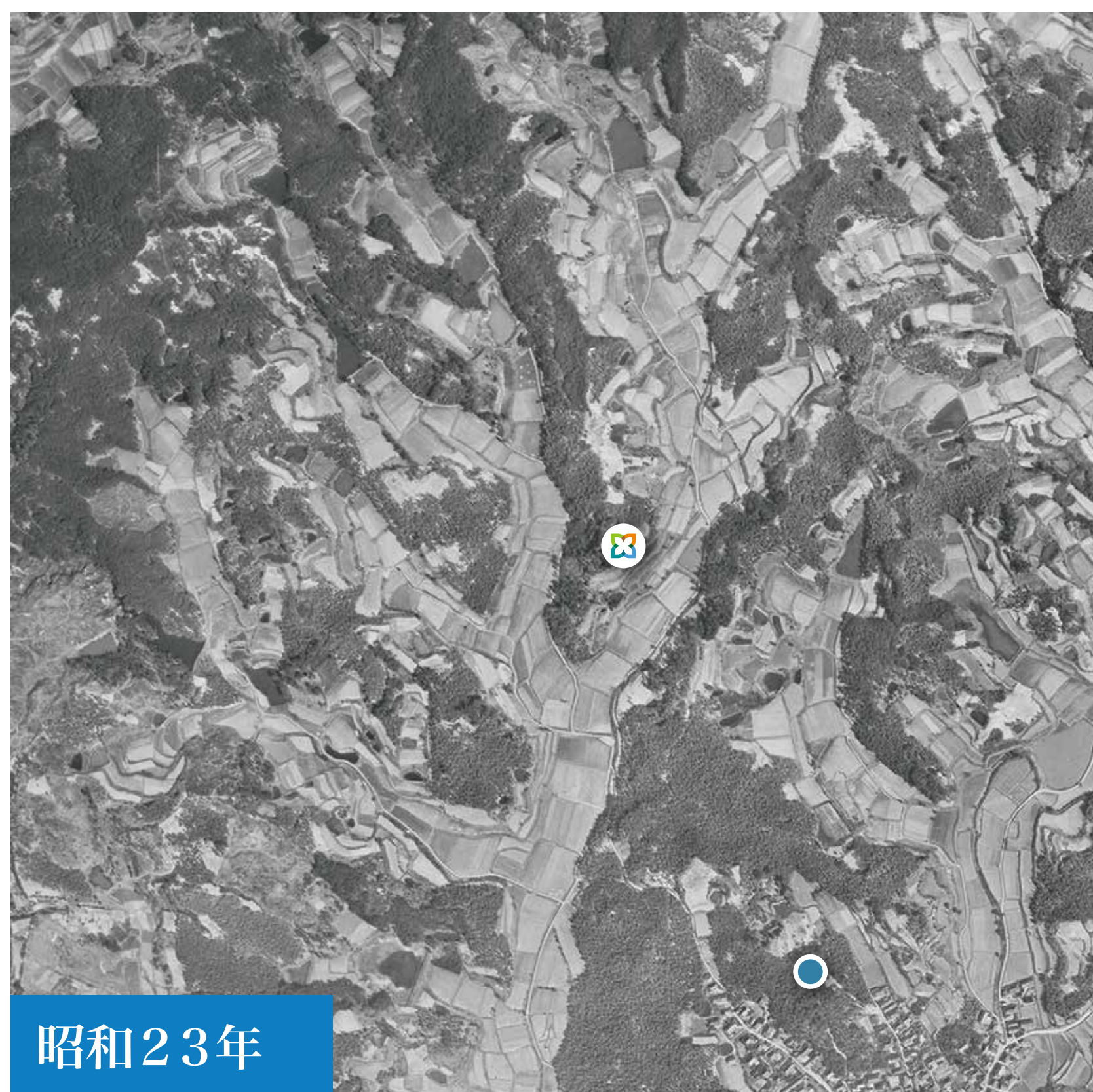
千里中央公園より新千里東町方面を望む



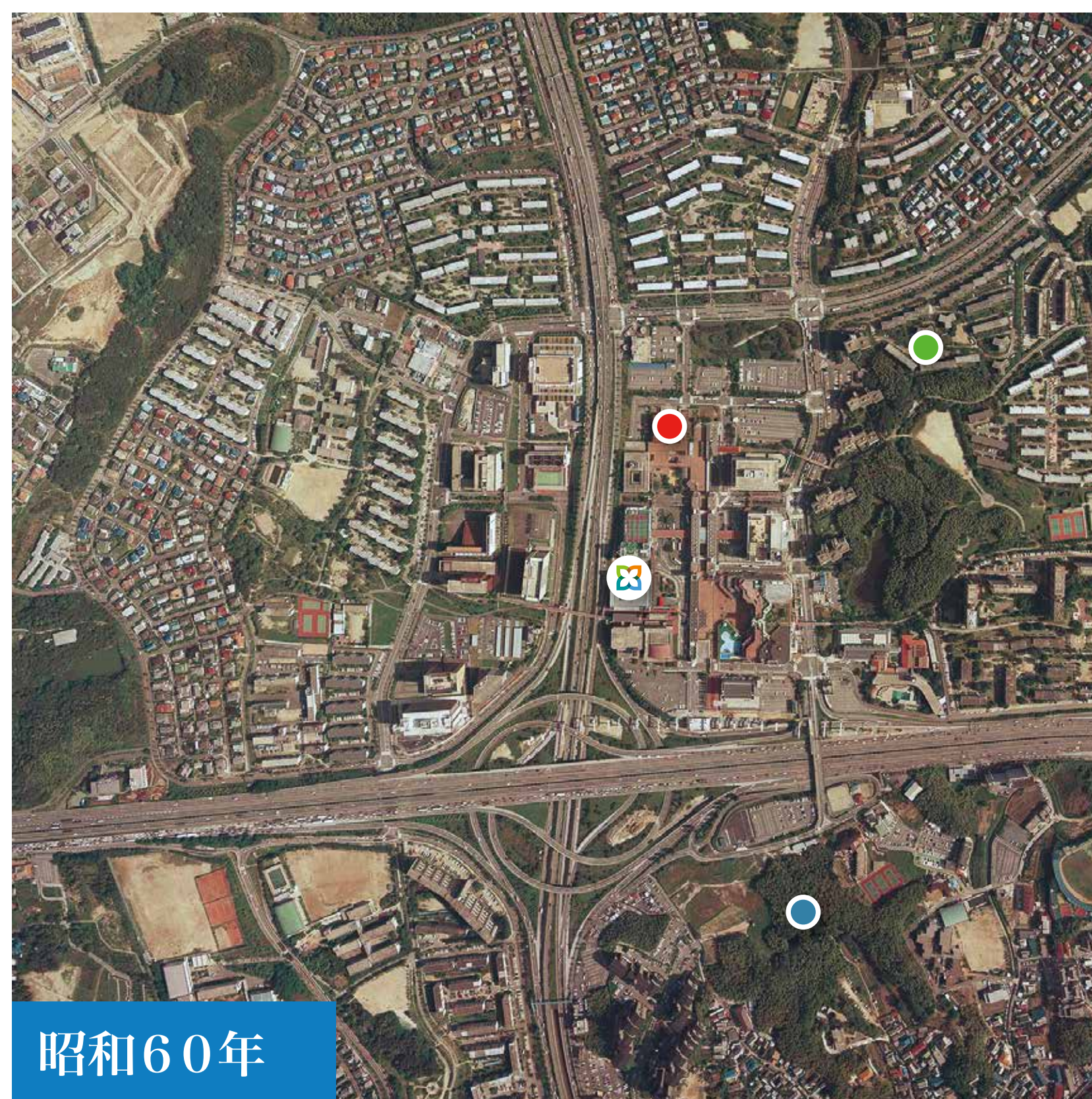
昭和45年

万博に来たタイの象の行進。北千里駅東側を万博会場に向かう様子

上空からみた千里エリア



昭和23年



昭和60年



平成24年

● : 現在地
● : 上新田天神社(千里天神) ● : 千里東町公園 ● : 千里中央駅

出典: 国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集: 株式会社コロマチ